SEE THE WORLD

留学コンセプトブック VOL.7

世界とつながりたい高校生へ

CONTENTS.1
なかやまきんに君流
海外に飛び立つための
7か条

CONTENTS.2
留学について学ぼう

CONTENTS.3
高校生による留学
体験談紹介

CONTENTS.4
国内でも国際交流!
「県立学校の姉妹校等
交流事例紹介」

広島県教育委員会

留学コンセプトブック「SEE THE WORLD VOL.7」発行に当たって

留学コンセプトブックをお読みいただきありがとうございます。

この冊子は高校生の海外留学の促進を図るため、主に次の 3 つのテーマを掲げて作成しています。

この冊子がこれから海外留学に挑戦しようとする皆様の一助となればと思います。

目　次　Contents

02 巻頭メッセージ
トビタテ！留学 JAPAN 公式アンバサダー
なかやまきんに君

03 留学について学ぼう
留学に関する悩みを Q&A で解決！

05 先輩たちの留学体験記
広島から世界へ。たくさんの生徒が海外留学に挑戦しています。

13 国内でも国際交流！
姉妹校交流の事例紹介

広島県教育委員会

なかやまきんに君流

海外に飛び立つための７か条

01 根拠のない自信・自分を信じる!

うまくいく! という根拠のない自信があって、常に自分を信じていた。筋肉留学を決意し、その時期、そのときにしかできないことをしようと思ってアメリカへの大学進学を決めた。自分を信じて進んだからこそ留学の経験が今の仕事に生きている!

02 大変でも自分でやると決めたことは頑張る!

アメリカの大学での生活は、朝6時に起床、登校、授業後も図書館で勉強。一日の睡眠時間は3時間。そんな過酷なスケジュールでも、決めたことをやるんだという気持ちで乗り越えられた。モチベーションを保つのは大変だったけど、自分を信じて頑張った!

03 ワクワク7割・不安3割 不安はあっていい!

その瞬間にしかできないことがある。もちろん楽しいことばかりではない、不安があってもいい。不安があるからこそ、準備や勉強、海外での生活に注意しようという行動につながる。不安があるから諦めるのでなく、ワクワクと不安の両方を大切にし、挑戦してほしい!

04 日本のことをある程度話せるように!

海外に行くと自分が日本のことについて知らないことが多いことに気づく。日本の人口や観光地や自分の町、アニメなど、自分の興味のある分野を英語で紹介できるようにしてほしい。海外での初めのコミュニケーションは日本を紹介すること! 挨拶程度でも日本のことを話せるようにしてほしい。

05 自分を見つめなおす時間を大切に!

留学中は一人の時間が多いと思う。そこで改めて自分を見つめなおす時間にしてほしい。世界の現状や、異文化に触れながら、海外から日本を見つめながら考えることは、留学ならではの経験。日本で経験する孤独とは違う。そういった時間があることも留学の醍醐味!

06 興味のあるもので英語を学ぶこと!

筋肉留学から4か月目に英語でお笑いライブを行った。翻訳したネタを覚える作業で、「こういう表現にしたい」と考えることはとてもワクワクして、その時の英語はするすると頭に入ってきた。教科書で何となく学んだことは忘れがち。自分の興味のあることを英語で話すことこそ英語が身につく近道だと思う。

筋肉留学は終わっていない! まだ続いている!

テレビやハリウッドなどのオーディションを受けて海外のエンターテインメントの分野で活躍することが目標。今後も引き続き挑戦していきたい! 海外でも「パワー!」を流行らせたい!

07 いろんな人の考えや文化を学ぶこと!

留学をすることで、いろんな人がいて、様々な意見があることを実感した。留学先のアメリカは個人主義で意見をはっきり言える、日本は協調性を重んじて周りに合わせる、どちらが良い悪いではなく、それぞれの文化に良さがある。様々な文化を知った上で、自分で調整し取り入れていける人がこれから大切になる。多様な考え方があることを知れるのが留学の醍醐味。

高校生へのメッセージ

迷っていたら挑戦してほしい! 若いうちにいろんな経験をすることは人生の財産になる。それが留学でなくてもいい。何かに挑戦してほしい。留学で迷っていたら、大きな目標でなくてもいい、2週間でも1か月でもまずは迷ったら挑戦してほしい。

なかやまきんに君 Nakayama Kinnikun

1978 年 9 月 17 日生まれ。福岡県出身。タレント養成所 NSC 大阪校 22 期生で、2000 年にピン芸人としてデビューした後、吉本新喜劇に入団。2003 年に「ABC お笑い新人グランプリ」審査員特別賞を受賞したほか、「R-1 ぐらんぷり 2006」ファイナリストとしても知られ、お笑いジャンルのみならずスポーツ系の番組出演でも人気を博す。2006 年、米国「筋肉留学」でサンタモニカカレッジ卒業（運動生理学）、現在は、ボディビルダーとしても活躍中。

留学について学ぼう

異文化間協働活動支援員とは

広島県教育委員会で、海外留学や異文化交流に興味のある県内の高校生のサポートを行っており、自身の海外経験を生かして、留学に関する個別相談、県立学校の海外姉妹校等交流の支援、高校生対象の留学・異文化交流のイベントの企画・運営等の情報の提供を広く行っています。留学に興味をもったらまずは学び、そして扉を開けてみましょう。

学ぼう１

Q. 留学には興味があるけど…具体的にイメージができない!

A. 今一度、自分の行きたい場所やりたいことをしっかりと見つめ直してみましょう。

行き先、期間、目的、一言で留学といっても、その内容は様々です。自分の思いを実現できるのは、どんな留学？どんなところで、何がしたい？学校の掲示、本やインターネット等で情報を集め、気になることがあったら問い合わせてみましょう。

トビタテ! 留学 JAPAN 高校生の留学

✔ https://tobitate-next.jasso.go.jp/hs/index.html

文部科学省トビタテ! 留学JAPANが、留学の準備ガイドや国別の留学ガイド、留学関連イベントや奨学金の検索エンジン等、留学にまつわる様々な情報を発信しています。

おもな留学方法の一覧

種類	特色	期間
民間の留学プログラム	行き先や期間、目的別にプログラムを選べる	短期 長期（3ヶ月~１年程度）
各自治体の留学プログラム	各自治体の姉妹都市等との交換プログラム等がある	短期の場合が多い
姉妹校留学	在籍する学校の海外姉妹校への留学	短期の場合が多い ※長期プログラムをもつ学校もあります
交換留学	(公財) AFS日本協会や(公財) YFU日本国際交流財団等の交換留学団体を通じて長期的にホームステイ等をして現地の学校に通う ※多くの団体では事前に選考試験を行っています	長期（1年程度） ※交換留学団体によっては短期プログラムもあります
その他	目的に合わせ、行き先や期間を自分で決める ※留学エージェント等を利用、もしくは自分で手配します	受入先の状況にもよるが、自分の希望や予算等に応じて自由に決められる

学ぼう２

Q. 留学期間中、学校を休まないといけないのが心配

A. 留学中の扱いは在籍している学校によって異なるので、まずは学校の先生に相談してみましょう。

短期の留学を計画している場合は、留学期間中の扱いは学校の判断になりますので、まずは学校に相談しましょう。また、県立学校では、長期留学（概ね１年間）の場合、要件を満たせば留学中の単位を修得単位として認定する制度があります。

学ぼう３

Q. 留学したいけど、お金がかかるから、ちょっとなぁ…

A. 実際に留学するためにかかる費用や、助成金等の制度について調べてみましょう。

留学期間や留学先によってプログラムの費用は異なります。各自治体が補助金等で支援するプログラムや、無料の招聘プログラム等もあります。また、留学助成金・奨学金制度もぜひ活用してください。留学を考えるときは、自分の行きたい留学にはいくらぐらい、どんなことにお金がかかるのか、使える留学支援制度はないか自分でしっかり調べてから家族とも話してみましょう。

おもな留学支援制度の一覧

種類	対象	金額	返済	特徴	連絡先
広島県教育委員会 留学助成金	●３か月以上の渡航 ●県立学校に在籍する生徒	30万円	不要	●語学・成績要件なし ●選考試験等なし ●要校長推薦	広島県教育委員会 高校教育指導課 ☎082-513-4991
広島県教育委員会 留学奨学金	●2週間以上３か月未満の渡航もしくは３か月以上の渡航 ●保護者が県内に住所を有する高校生等	上限20万円 （2週間以上３か月未満の湯合） 上限50万円 （3か月以上の湯合）	要	●語学・成績要件なし ●選考試験等なし ●要校長推薦 ●無利息貸付 ●償還期間最長10年	
トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム	●全国の高校生等 （新高校１年生向けコースもあり）	留学先や留学期間により異なる	不要	●全国の高校生等 （新高校１年生向けコースもあり）	トビタテ！ 留学JAPAN事務局 公式HP参照

奨学金には、所属する教育機関や各自治体が提供するもの、その他日本の各種法人が提供するもの、海外の教育機関が提供するもの、海外の各種法人が提供するものなど、様々な種類があります。お住まいの市町や興味のある教育機関のホームページをチェックして問い合わせることをおすすめします。

2025年３月１日現在

学ぼう４

Q. 語学力、安全面、ホームステイ…とにかく心配で、一歩が踏み出せない

A. 不安要素を１つ１つ消していきましょう。

不安に感じるのは、きっとまだ分からないことや初めてのことが多いから。自分で調べるのはもちろん、同じ不安や悩みを乗り越えて渡航した先輩から生の声を聞くことはとても参考になります。どんなに準備していても予想外のことが起こるのが海外ですが、高校生の留学は、留学エージェントや学校の先生、ホストファミリー等たくさんのサポートを得ながら海外生活が送れるチャンスです。色々なことを心配し過ぎるよりも積極性を大切に、チャレンジしてみましょう。

役立つ留学情報

広島県教育委員会ホームページ

✔ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/ibunka-suishin/

広島県教育委員会のホームページには留学を目指す皆さんのために役立つ情報、留学支援制度など広く紹介しています。

短期留学プログラム

✔ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/ibunka-suishin/tanki-program.html

広島県教育委員会では民間事業者等と連携して、短期留学プログラムを案内しています。

留学大図鑑

✔ Instagram@ryugaku_daizukan

✔ https://tobitate-next.jasso.go./zukan/

文部科学省トビタテ! 留学 JAPAN が運営する留学大図鑑では、実際に留学を経験した1,000人以上の先輩たちの情報（行き先・留学の内容・留学先の様子・留学に関する悩みの解決方法等）が掲載されています。その名のとおり図鑑のようになっていて、阿波踊り留学や、イタリアのスーツ職人への弟子入りなど、多種多様な留学体験を眺めているだけでも楽しい! 定期的にインスタライブが開催されており、先輩留学生に色々質問することもできます。

外務省海外安全ホームページ

✔ https://www.anzen.mofa.go.jp/study/

外務省海外安全ホームページでは、国・地域別の治安やテロ、感染症の情報や安全対策情報など。海外渡航・滞在に役立つ情報を公開しています。また、在留届・たびレジに渡航情報を登録することで、留学中に外務省や現地の日本大使館等から最新の安全情報をメールで受け取れるほか、緊急時の連絡、安否確認、支援などが受けられます。

新しい環境への挑戦

Profile 加計高等学校 上野 来夏さん（Kona Ueno）

Information

留学先：アメリカ（ハワイ州）
留学期間：約2週間
留学費用(概算)：約30万円
留学方法：姉妹校留学

ホストファミリーとのお別れ会の後、ビーチで

留学に挑戦したきっかけ

私は「知り合いがいない新しい環境に身を置いて自分自身を成長させたい」という強い思いがあり、県外から親元を離れて加計高校に進学しました。その思いは海外留学にも通ずるところがあり、様々な価値観や文化、多様性に触れたいと考え、姉妹校への留学を決意しました。また、元々ハワイが大好きで、自分の「来夏（こな）」という名前の由来になったコナの街を、1度は訪ねてみたいと思っていた事も、理由の1つです。

留学の成果

自分の英語力を把握できたことはとても重要だったと感じています。ある日ホストファミリーが楽しそうにトークをしていて、私はどのような話題で盛り上がっているのかが気になり、会話の内容に耳を傾けました。しかし、会話のスピードに追い付けず、英語がうまく聞き取れませんでした。英語で聞き返してみたもののうまく伝わらず、さらっと打ちのめされた現実に、「もっと英語ができていたら」と悔しい気持ちでいっぱいでした。この悔しさから、帰国後、英語の勉強に今まで以上に一生懸命励むようになりました。加計高校では、日本から姉妹校へ留学しに行くだけでなく、姉妹校の生徒さんも私たちの高校を訪れ、ホームステイを受け入れるプログラムも行っています。そのため、今年は留学先でお世話になったホストシスターと半年ぶりに日本で再会することができました。すると、昨年留学したときと比べて、圧倒的に会話ができるようになっていることに気がつきました。留学中あまりうまくいかなかった英語だけでトークを楽しむことも、会話のつながりも、相手の言っていることも大体が理解できてとても嬉しかったです。より深い思い出をハワイの友達とつくることができたのは、留学を期に継続して英語を学び続けていたからだと感じました。

ハワイで過ごした２週間

現地での思い出は、学校での授業、現地散策、火山へのハイキング、美しいビーチを散歩したことなどたくさんあり、どの出来事もとても印象的です。初めての経験が多かったですが、そのたびホストシスターが「Do you wanna try?」と声をかけてくれたことで思い切って色々なことに挑戦できたと思います。日常生活を共にしたホストファミリーや積極的に自分から話しかけてくれたクラスメイト、現地の先生や友達、ハワイの人たちの温かさを肌で体感できたことなどがとても印象に残っています。

今後の目標など

まだ目標は確実に定まっていませんが、きっと、これからの人生も様々な人と出会い、多様な価値観に触れる機会が数多くあると思います。そこで今回の留学を通して身についた行動力、積極性や協調性を生かして自分の道を拓いていきたいと思います。

カンボジア留学から学んだ人生の創り方

Profile 大崎海星高等学校 久保山 暖乃さん（Nono Kuboyama）

Information

留学先：カンボジア
留学期間：約3週間
留学費用(概算)：約35万円
留学方法：民間プログラム

ミュージカル本番後に参加者と撮影した写真

留学に挑戦したきっかけ

小学生の頃、親の仕事の都合でインドネシアに2年間住んでいたことがありました。当時の私にとって、海外での生活はとても刺激的でいつの日か自分で海外に行きたいという気持ちを抱くようになりました。しかし、その後中学校に入学し、部活に打ち込む多忙な日々と合わせて新型コロナウイルスの影響もあり、「海外」から距離を置く日々が続きました。高校入学後、改めてこれまでやりたくてできなかった海外留学にも挑戦したいと思いました。私の中での留学は、単なる観光や語学留学ではなく、現地の生活を目で見て肌で感じる生活を目的としたものを考えていました。また、一度住んだことのあるインドネシアに近い地域だと、一人で行くにも訪れやすいと思っていろいろな留学プログラムを探していました。そんなときに出会ったのが、今回参加したカンボジアの孤児院の子どもたちと一緒にミュージカルを創るといったワークショップ型のプログラムでした。留学出発前からカンボジアの歴史背景や現状を調べました。カンボジアのことをよく知れば知るほど、早く現地に行ってみたいという想いが強くなっていきました。また、少しでも現地の人と共通の言葉で交流できたらと思い、クメール語での挨拶や言葉も併せて学びました。

言葉が通じないからこそ感じたリアル

私は、今回のプログラムで孤児院の子どもと一緒にミュージカルを披露しました。しかし、英語も通じない彼らとコミュニケーションを図ることは非常に苦労しました。私は、とにかく必死に伝え合い、理解しようとしました。もちろん全てを理解するには難しく、どうやって伝えたら良いのかをその都度考えていました。しかし、こうして考える日々は私にはある事に気づかせてくれました。それは、言葉が通じないからこそ感じられる「リアル」を楽しむことです。日本語のある環境とは異なり、共通のツールとなる言語がない、スムーズに伝わらないというが前提にあるからこそ、身振りや表情から必死に伝えよう、理解しようという姿勢が自然とその場にはありました。

留学を振り返る、そして“自分の人生”を生きる

日本人とカンボジア人との生きる選択の違いを今回の留学を経て考えるようになりました。私は日本で生活をしていると、生きるために社会に出て、仕事を求めるように感じています。それは、誰かに使われている印象も受けたり、生き急ぐことにつながったりしているように思うこともあります。その一方で、カンボジアの人は、「生きたいから生きる」、どうやって楽しく過ごすかを考えている印象を受けました。自分の人生の時間をどう使うか考える生活を送っている彼ら。自分に余裕のある生活をしており、周りに求めすぎず、できることをお互いにするという姿勢から、私は自分のために「やらない」という選択をしてもいいのだと自分に余裕をもてるようになりました。そうした発見をこれからも自分の人生に取りいれて自分の人生を豊かにしていくために、より多くの場所を訪れ、また自分の心を動かす新たな発見をしたいと思っています。それは必ずしも「クオリティの高いもの」である必要はないと思っています。

これから留学に挑戦する人へ

留学するとき、「目的」をもっていくことは大切だと思います。私の同級生もたまたま違う場所に留学しましたが、私と同級生との目的はそれぞれ違いました。みんなそれぞれの目的があって良いと思います。また、目的をもつことで、その留学先で自分はどんな過ごし方をするのか、どうやったら充実した生活を送ることができるのかを真剣に考えることができました。目的があれば、留学を終えた時に自分の中に残るものは変わってくるし、やり残したという思いをもつことはなくなると思います。「これだけは達成する!」という目的・目標をもって、留学に行ってみてください。

世界には我々だけが存在しているのではない

Profile 五日市高等学校 松島 諄さん（Jun Matsushima）

Information

留学先：インドネシア
留学期間：約１週間
留学費用(概算)：約20万円
留学方法：姉妹校留学

崩れた家に住む女性と子供

留学に挑戦したきっかけ

私の家では、昔からたびたびホームステイの受入れを行っており、海外の文化に触れることがよくあったため、海外への憧れを強く抱いていました。「姉妹校との交流」という形で一般的な観光とは異なった体験に挑戦できるのは今しかないと思い、インドネシアへの短期留学に挑戦しました。

現地で感じたこと

留学出発前にインドネシアの文化などについて事前に学校で学習をしていきました。ただ、現地に行ってそれがインドネシアのごく一部のことにしか過ぎなかったということを実感しました。事前学習の段階では、姉妹校の周辺や首都ジャカルタの発展的な側面しか認識できていませんでしたが、実際には青緑色に濁った川、スラム街で崩れかけた家に住む人など、日本ではあり得ないような光景を多く目にし、経済格差などの社会問題を肌で感じました。もし今回インドネシアに行っていなければ、私のインドネシアに対する理解は事前学習の発展的な側面のみに止まったままだっただろうなと感じました。

現地の成果

この留学を通して、「世界には我々だけが存在しているわけではない」という感覚を得られました。日本にいると、自分は視野が広い、と思っていても、実際に異国の地に降り立ち、こちらが少数派となると、全く知らない世界が存在していることに気づかされました。日本から出たことによって、これまでの自分を少しばかり脱することができたと思います。私は小説家になりたいと思っており、この留学経験は小説を書いていく上で貴重な引き出しとなると思います。今回、留学に参加してみて、たった一回でも参加したことは大いに価値があることだと思っています。この一回の経験を今回限りのものにしたくないとも思っています。このプログラムで得られたものをどうすれば生かしていけるのかは、今はまだ模索中ですが、必ず何かにつなげていきたいです。

これから留学をしようと考えている同世代の人へ

留学に挑戦するということはとても大きな不安がつきまとうことだと思います。自分自身もそうでしたが、「大丈夫、なんとかなる」という言葉を皆さんに送ります。「異国の人」もヒトです。遊び、笑い、カレシカノジョもいます。たとえ、国や人種が違ったとしても、一つでも、80 億もの人全員に共通する何かがあるならば、それは美しいことではないかと思います。その美しい世界を見られるチャンスが今、目の前にあるならば、何があっても逃してはなりません。

百聞は一見に如かず！迷ったら挑戦を！

Profile 広島国泰寺高等学校 **田淵 花純さん (Kasumi Tabuchi)**

Information

留 学 先 メキシコ・グアナファト州　留学期間 5日間　留学費用(概算) 約10万円　留学方法 広島県青少年交流事業

“Your English is so good. Thank you.”
学校帰りの電車内で話しかけられた外国の方からかけてもらった言葉です。自分の英語が誰かに伝わる事、異なる国の人と言葉でつながれる事がこんなにも嬉しくて楽しい事なのだと感じた瞬間でした。メキシコでの交流事業に参加したきっかけは、そうした「もっと英語で様々な国の人と喋ってみたい!」という思いからでした。メキシコで出会った人たちはみんな自分の意見をはっきりと相手に伝えていて、そこは日本人とは大きく異なっているなと思いました。私も事前に学んだスペイン語（公用語）や英語でのコミュニケーションに積極的にトライしました。「間違っても良いから喋ってみる」、「喋ってみれば何とか伝わる。」という姿勢を身に付けることができたのは大きな成果だと思います。スマホやネットでは分からないことを知ることが出来るのが海外に行く、魅力だと思いました。海外に行くと、日本のことも少し客観視することが出来たように思います。皆さんも是非、挑戦してみてください!

メキシコの高校生たちと書道体験

夏休みを利用しての語学留学

Profile 広島皆実高等学校 **髙見澤 史帆さん (Shiho Takamizawa)**

Information

留 学 先 フィリピン　留学期間 2週間　留学費用(概算) 約40万円　留学方法 民間プログラム

元々海外の文化に興味があり、テレビやインターネットで見る留学体験記などにも憧れをもっていました。そこに夏休みの期間を利用して挑戦できるプログラムの案内があったので、「これなら」と思い、留学に挑戦することを決めました。現地では語学学校での英語のレッスンに加えて、ボランティア活動にも参加しました。その際に、教科書だけでは決して知ることのできない現地のスラム街の子供たちの現状を目にし、課題解決をしていくためには「現状をよく知る」ということがとても大切だということを実感しました。今回の留学経験を経て、他にも様々な国を訪れ、もっと知見を広げていきたいと思いました。そこにはきっと、自分のこれからに生かせるアイデアやヒントがたくさんあると思っています。

パンダノン島の透き通った海（このような美しいリゾート地の裏にもスラムがある。）

英語しかない環境に身を置くため留学に挑戦！

Profile 広島観音高等学校 **川本 悠月さん (Yuduki Kawamoto)**

Information

留 学 先 カナダ　留学期間 10 日間　留学費用(概算) 80万円　留学方法 民間プログラム

学校で学んだ英語を生かして、英語しかない環境で自分の意見を伝えたり、コミュニケーションをとってみたいと思い、カナダへの留学に参加することを決めました。出発前には留学プログラムの事前合宿に参加したほか、自分でも便利な英文を予習したり、観光地に置いてある英語のパンフレットなどを集めて、日本のことを英語で紹介できるように準備を行いました。実際に留学先で英語でコミュニケーションをとる際には、緊張で顔がこわばってしまいそうなときもありましたが、なるべく笑顔でコミュニケーションをとることに気を付けました。完璧な英文でなくても思い切って話してみると意外と伝わるし、そこからさらに会話が広がっていくんだということにも気づくことが出来ました。今回の挑戦を通じて勇気を持って、積極的に行動することが大切だと気づくことができました。これから留学に挑戦しようと考えている人も、最初は分からないことだらけで不安に思うと思いますが、それは当然です。分からないことや不安なことはどんどん友人、先生、ホストファミリーに伝えましょう。

バンクーバーでスケートに挑戦

国際機関で活躍できる人材を目指して

Profile 福山誠之館高等学校 **高垣 皓さん (Kou Takagaki)**

Information

留 学 先 ノルウェー　留学期間 15 日間　留学費用(概算) 約60万円　留学方法 姉妹校留学

私には、将来、ユニセフやJICA等の国際機関の職員として、貧困や平和などの課題解決に携わりたいという夢があります。その第一歩として、「外国」を実際に体験したいと思い、姉妹校への留学に挑戦しました。現地での生活の中で特に感じたのがコミュニケーションの図り方の違いです。日本では、相手に直接的にはっきりと物事を伝えるのは慎まれる文化がありますが、現地の人たちは結構はっきりと意見を言うし、逆にそうしないと自分の主張を汲んでくれないと感じました。最初は困惑しましたが、どちらの文化が正しいとかではなく、お互いの文化を尊重し、歩み寄って良好な関係を築くことが大切だということが今回の学びです。このことはこれからの自分の進路目標にも生かしていけると思っています。これから留学にチャレンジしようとしている皆さん、言葉がうまく通じないのは当然です。でもそこから一語一語でもいいから思ったことを伝えようとする姿勢が何よりも大切です。失敗を恐れず挑戦してみましょう。現地の人達は、私たちが思っているよりもずっと優しく、思いやりがあります。

姉妹校の生徒たちとスケート

ニュージーランドでの異文化体験

Profile 廿日市高等学校 **井堂 明衣さん (Mei Idou)**

Information

留 学 先 ニュージーランド　留学期間 3か月間　留学費用(概算) 約 150 万円　留学方法 姉妹校への交換留学

留学先のニュージーランドは、自然環境に恵まれており、学校での授業の他にもフィールドワークなどのアウトドアアクティビティも充実していました。人生初のサーフィンに挑戦できたこともとても思い出に残っています。また、ニュージーランドの先住民族である「マオリ」の文化についても学ぶ機会がたくさんありました。留学する前は、メディアなどの情報から海外の人と言えば、日本人よりも陽気で大胆な人が多いと思っていました。しかし、実際にはそんなことはなく、人それぞれの個性があるんだと実感しました。日本人同士でもそうですが、特に、国や文化が異なる方と接するときには先入観を持たず相手と向き合うということが大切なんだなと思いました。将来的には、海外と関われるような国際的な職業に就きたいと考えています。今回の留学で得られた異文化理解やコミュニケーション能力などをこれからさらに磨き、進路目標を実現したいと考えています。

人生初のサーフィンに挑戦

ずっと後ろ向きだった海外留学に挑戦

Profile 広高等学校 **倉岡 心優さん (Miyu Kuraoka)**

Information

留 学 先 シンガポール　留学期間 1週間　留学費用(概算) 50万円　留学方法 民間プログラム

私は今回の留学に挑戦するまで、ずっと海外留学に後ろ向きでしたが、英語をスラスラ話している人に憧れるようになり、自分の英語力を高めようと海外留学に挑戦することを決めました。現地の方の非常に明るくポジティブな姿勢には圧倒されました。そうした環境の中で、多少の失敗は気にせず、英語をとにかく喋ろうとする力が身についたと思います。また、自分の話をよりよく伝えようと、イントネーションの工夫やジェスチャーを交えたコミュニケーションが自然とできるようにもなりました。私は将来、看護師になるという目標をもっています。元々は、留学は「将来海外で活躍したい人たちのものだ」と思っていた私ですが、今回の留学を経て、これからもっと英語力を向上させ、世界の人々を助けることができる看護師になりたいと思いました。

マーライオンの前で

英語の本場イギリスへの留学

Profile 呉宮原高等学校 **金木 うささん (Usa Kaneki)**

Information

留 学 先 イギリス　留学期間 2週間　留学費用(概算) 70万円　留学方法 民間プログラム

中学生の時から英語の勉強が好きで、心のどこかでずっと「留学をしてみたいな」と思っていました。高校生になってからも英語を学ぶことの楽しさを感じており、そう感じている今だからこそと思い、親や先生の助言も受けてイギリス留学にチャレンジしました。留学先では世界各国から留学に来ている同世代の人たちと交流できたことがとても印象に残っています。自分自身も積極的に英語でコミュニケーションをとることに挑戦しました。うまく話せないことも多かったけど、会話が盛り上がったときの嬉しい気持ちは今でも忘れません。ますます英語の勉強を頑張ろうと思えるきっかけにもなりました。初めてのことに挑戦するのはとても勇気がいることだし、躊躇するかもしれません。でも、一歩踏み出した先で得られるものは必ず自分の糧になると思います。自信がなくても、前向きな姿勢と好奇心があればきっとうまくいきます。一緒に頑張りましょう。

ホストファミリーとの写真

進路にも影響を与えた短期留学

Profile 三次高等学校 **小木戸 寿花さん (Shuka Kokido)**

Information

留 学 先 オーストラリア　留学期間 9日間　留学費用(概算) 約20万円　留学方法 広島県教育委員会主催 短期留学プログラム

私は広島県教育委員会主催の短期留学に参加し、オーストラリアのケアンズに行きました。訪問先のケアンズ州立高校の人はとても温かく、海外だからと意識せず、自然に過ごすことができました。滞在中には、生徒それぞれが自分のルーツの文化や土地についてプレゼンをするイベントがありました。異なるルーツを持っている人々がお互いに尊重し、受け入れ合っている、多文化共生を肌で感じることができました。そして、この短期留学に参加して自分の視野が大きく広がりました。実際に海外に行った経験が自分を見つめ直す契機にもなり、それまでは選択肢になかった海外の大学や大学院への進学ということを含め納得のいく進路決定ができたと思います。そうした進路の相談や勉強のことなど、今回留学を共にした仲間と情報交換できたことも心強かったです。これから大学では国際系の学部に進み、ケアンズで見た多文化共生社会が世界中で実現するために何が必要なのか更に学んでいきたいと思います。

バディとの写真

姉妹校への一人留学

Profile 安古市高等学校 **佐々木 滉介さん (Kousuke Sasaki)**

Information

留 学 先 オーストラリア　留学期間 15日間　留学費用(概算) 25万円　留学方法 姉妹校留学

中学生の頃から安古市高校がオーストラリアの学校と交流を行っていることを知っており、日本にやってきた留学生とのふれあいも経験する中で今度は自分が実際に海外に行き、異文化体験や英語でのコミュニケーションに挑戦したいと思っていました。そんな中で日本から一人で姉妹校への留学を行いました。海外の地で自ら積極的に発言をし、自らの意見を伝え、人間関係を構築していくという経験により、チャレンジ精神が身についたと思います。また、現地の留学生と交流をしていく中で、日本の文化についても話題になり、改めて自国の文化への関心が高まりました。将来は、「フライトアテンダントとして、空の上で世界中の人々をおもてなししたい」という目標があります。その目標実現に向けて、留学経験で得た、積極性やコミュニケーション能力は大きな財産になると思います。

姉妹校の生徒の前でスピーチ

台湾姉妹校留学に挑戦！

Profile 千代田高等学校 **渡邊 瑞樹さん (Mizuki Watanabe)**

Information

留 学 先 台湾　留学期間 約2週間　留学費用(概算) 約25万円　留学方法 姉妹校留学

千代田高校では台湾の高校と姉妹校交流を行っており、自分が留学をする前に台湾の姉妹校の生徒が千代田高校を訪問してくれました。その際に台湾の生徒は英語をすごく上手に話していましたが、自分はなかなか思ったように話すことができず、留学を通して少しでも英語力が向上すればと思い、留学に挑戦しました。現地ではホームステイを行ったので、ホストファミリーに積極的に話しかけることを意識して生活をしました。時にはジェスチャーなども用いてコミュニケーションをとるということもしましたが、やはり言語はできるに越したことはないなと痛感しました。その他にも2週間のホームステイ生活を通して、自律することを学べた留学経験となりました。これから留学に挑戦する人も、思い通りにいかないこともたくさんあるのが留学ですが、必ず貴重な経験になると思いますので思い切って挑戦してみてください。旅先では思い出としてたくさんの写真を撮っておくことも忘れないように!

夕日で有名な淡水（台北市）

挑戦したこと自体が財産！

Profile 世羅高等学校 **貞繩 小百合さん (Sayuri Sadatsuna)**

Information

留 学 先 アメリカ　留学期間 2週間　留学費用(概算) 30万円　留学方法 姉妹校留学

元々、海外留学と将来の自分の進路とはつながりが薄いと思い、海外留学に挑戦するかどうか悩んでいましたが、家族や周囲の人の後押しもありチャレンジすることに決めました。留学に向けては、YouTubeで英語のアニメなどを見たり、文化や生活の違いなどを調べて備えました。はじめは、ネイティブスピーカーの英語のスピードについていけず戸惑いましたが、徐々に慣れて会話ができたときには日本での英語の学習の中では味わうことのない達成感や喜びを感じ、帰国後の英語学習のモチベーションアップにもなったと思います。留学経験を通じて、言語や文化など様々なことを学びましたが、それ以上に、「新しいことに挑戦した」ということ自体が私自身の一番の財産だと感じています。勇気を持って挑戦することは自分を良い方向に向かわせてくれるということに気づきました。

インドの伝統行事ホーリー（色水を掛け合うインドの祝日）に参加

国内でも国際交流!

県立学校における姉妹校等交流

広島県教育委員会では、各県立学校での姉妹校等交流の促進にも取り組んでいます。姉妹校等交流では、実際に現地の姉妹校等を訪問する他にも、海外姉妹校等から留学生を受け入れての交流も行われています。今回は、福山葦陽高等学校、世羅高等学校の交流事例を紹介します。

福山葦陽高等学校

これまでの交流の経緯

福山葦陽高校では、平成25年から米ハワイ州のワイパフ高校と姉妹校交流を行っています。令和2年度から令和4年度までの3年間は新型コロナウイルス感染症の影響から対面での交流が行えず、オンラインで交流を継続していましたが、令和5年度以降は対面での交流を再開することが出来ました。例年、6月頃にワイパフ高校からの生徒を受け入れ、2月～3月頃に福山葦陽高校の希望生徒がワイパフ高校への短期留学を行っています。

交流内容

今年度、ワイパフ高校の生徒は約2週間を福山葦陽高校で過ごしました。滞在期間中は授業参加の他、地元産業や文化に関する見学や交流などを行いました。さらに、滞在期間終盤には福山葦陽高校の文化祭「葦陽祭」も開催され、ワイパフ高校の生徒も福山葦陽高校の生徒と共に合唱コンクールに参加しました。

生徒の声

〈1年6組 岩永 波奈さん〉

中学生の時に、福山葦陽高校でハワイの高校との交流ができると知り、この学校を選びました。在学中に必ず自分もハワイへの短期留学に挑戦したいです。

〈3年2組 松浦 陽菜さん〉

2年生の春休みにハワイへの短期留学に挑戦し、今回はそのときのホストファミリーが日本に来てくれました。短期留学の後、英語の勉強を一段と頑張ったのでどのくらいコミュニケーションがとれるのかというのを知れるのが楽しみです。

担当の先生からのコメント

〈国際交流担当：厚地 一弘 主幹教諭〉

交流の計画の際に工夫していることは、「福山ならではの経験」をさせてあげることです。福山には、畳や繊維産業をはじめ、多くの産業があるので、地域の方の協力も得ながらこれらの見学や体験を織り込んでいます。沿岸部の工業地帯の見学に行った際には、大きなクレーンや煙突にハワイの生徒は驚いていました（ハワイには重工業の関連施設は少ないため）。実は一緒に見学に行く日本の生徒も地元を”再発見”することも多くあり、そのような副産物もこの交流の意義深いところだと思います。

歓迎式典での書道パフォーマンス

伝統産業である藍染を体験

お別れ会での集合写真

世羅高等学校

これまでの交流の経緯

世羅高校では、平成22年から米ニューヨーク州のソーントン･ドノヴァン高校との姉妹校交流を行っています。コロナ禍の間は双方の訪問は中止せざるを得ない状況でしたが、令和5年度からは対面での交流を再開しています。例年、姉妹校からの留学生受入とニューヨークへの短期留学を実施しています。

交流内容

今年度は6月19日から6月28日までの10日間の日程で留学生の受入れを行いました。今回の交流のメインテーマは「平和」。広島とニューヨークは互いに「8.6」と「9.11」という悲惨な歴史的事実を経験した地であることから両校の生徒が合同で「平和」について考える機会と位置付けました。被爆伝承者の方による英語での講話や、平和記念公園でのフィールドワーク、「平和」をテーマにしたディスカッションなどにより交流を深めたほか、世羅高校滞在中は、全学年クラスの授業に参加し、全生徒が国際交流に参加しました。

生徒の声

〈3年3組 明智 萌愛さん〉

ニューヨークの短期留学に参加した際に、ニューヨークの街で多くの路上生活者の方を目にしました。世界中の人々が、平和で豊かな生活を送ることが出来るようにするためには自分には何ができるのかということを考えるきっかけになりました。大学では、国際関係の分野について学びたいと考えています。

校長先生のコメント

〈大島 裕 校長〉

国際交流と言うと、英語や言語などがクローズアップされがちですが、国際交流に必須のものではないと考えています。生徒には国際交流を通じて、「どうしたら相手を笑顔にしたり、幸福にしたりできるのか。」と考えたときの相手を思いやる姿勢や態度といった感覚的な部分の成長を遂げてほしいと思っています。当然、言語や文化の違いがあることから、生徒にとってはチャレンジングな場面も多いですが、「やってみたら何とかなった。」と感じている生徒も多く、世羅高生の前向きな姿勢にもつながっていると思います。

被爆伝承者による講話

平和記念公園視察

両校の生徒で話し合い、
それぞれの「平和」のイメージを
モニュメントにしました（一例）

広島県教育委員会では、海外留学や国際交流を推進していくため、次のような活動も行っています!

留学イベント：「ひろしま留学フォーラムの開催」

海外留学を希望する県内中・高校生を対象に留学経験者による体験談発表や、ゲストスピーカーによる講演などを行っています。

豪クイーンズランド州への短期留学（毎年実施）

広島県教育委員会と教育分野に関する協力協定を締結している豪クイーンズランド州からの生徒受入れ、日本から生徒派遣を毎年行っています。

その他にも、広島県教育委員会では、異文化間協働活動を推進していくため、次のような取組も行っています!

●姉妹校交流の支援　●短期留学プログラムの案内　●留学助成金や奨学金制度の実施

詳しくは広島県教育委員会のホームページを御確認ください。
（広島県教育委員会ホームページ－異文化間協働活動の推進－）
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/ibunka-suishin/